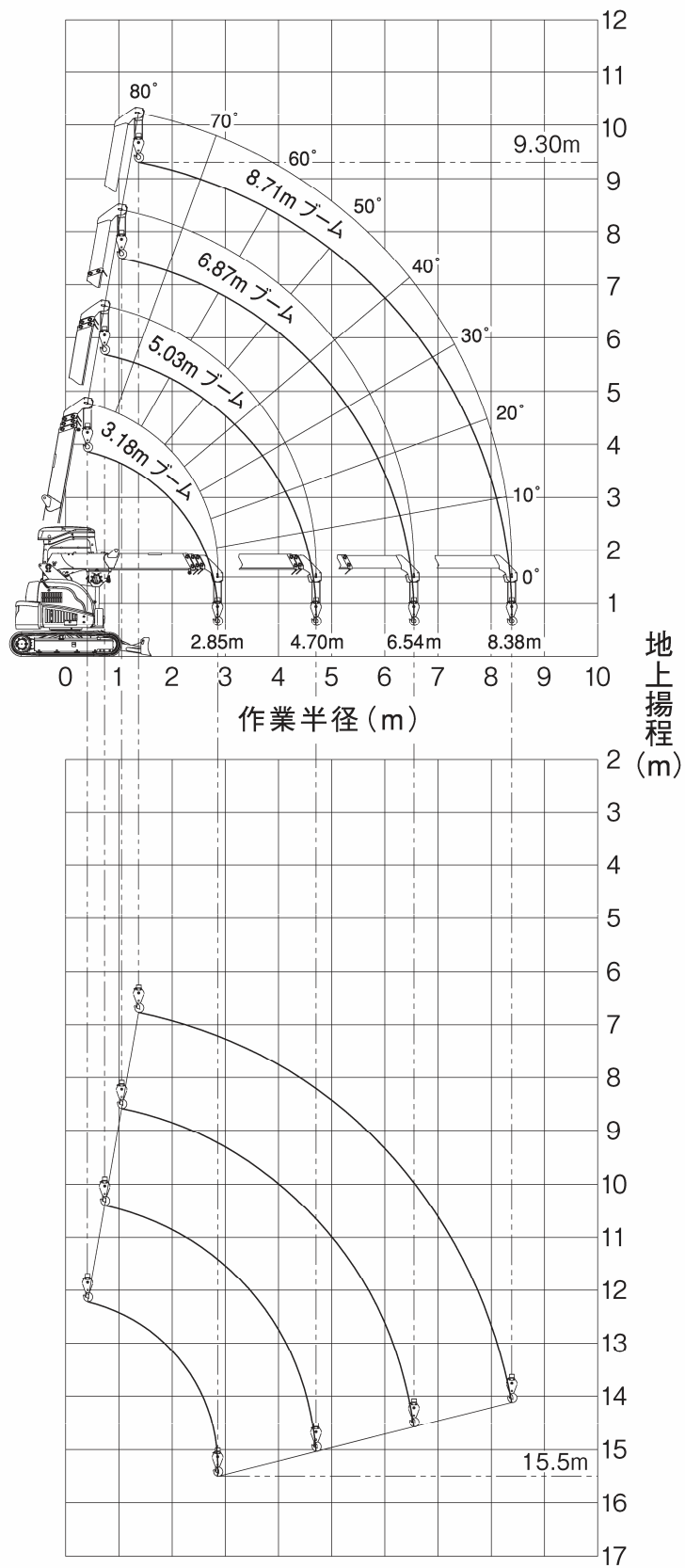
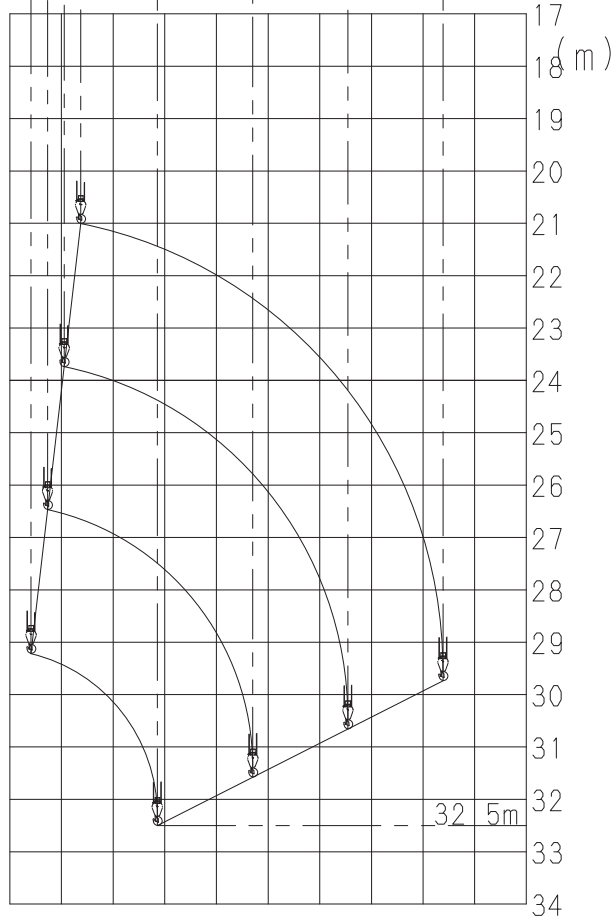
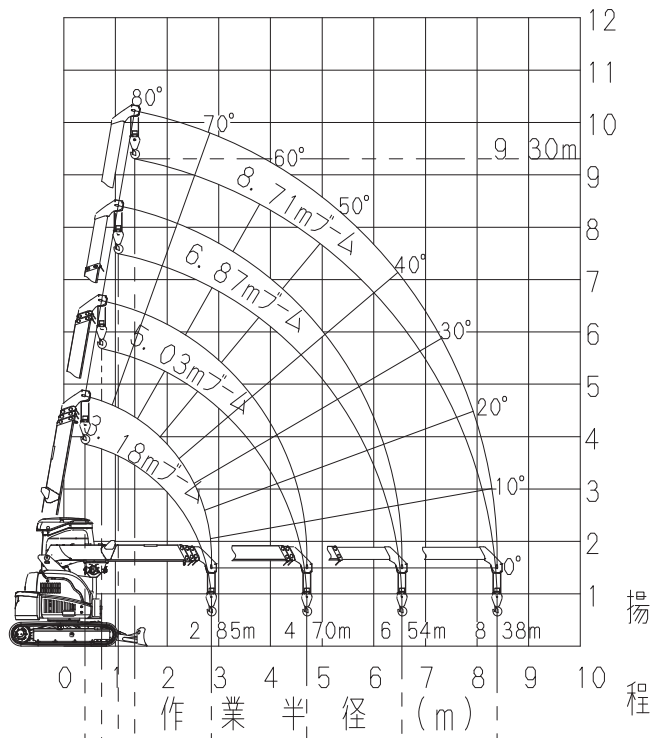


5. 作業範囲図

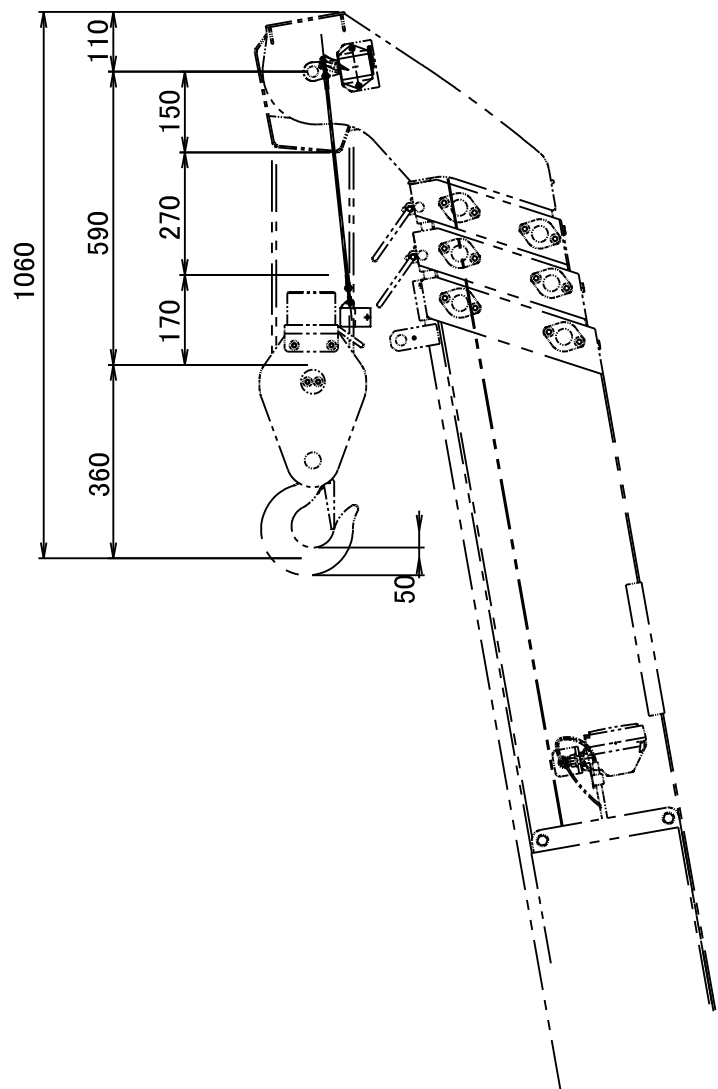
ワイヤロープ4本掛け時

LC383M-5

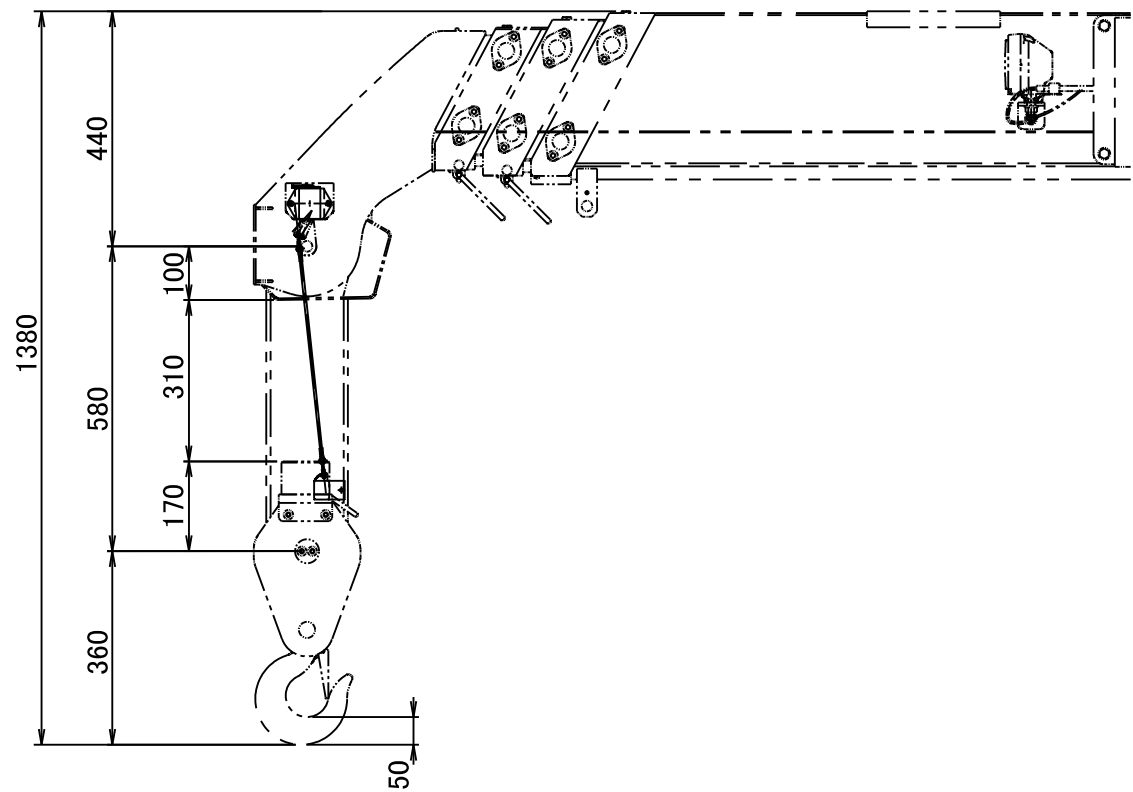




ブーム角度80°



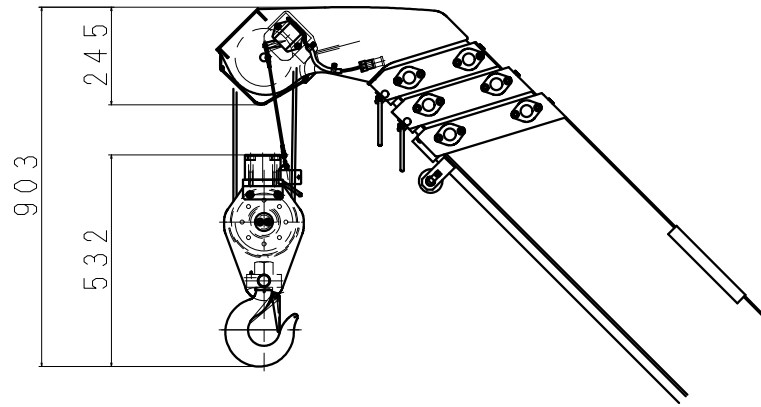
ブーム角度0°



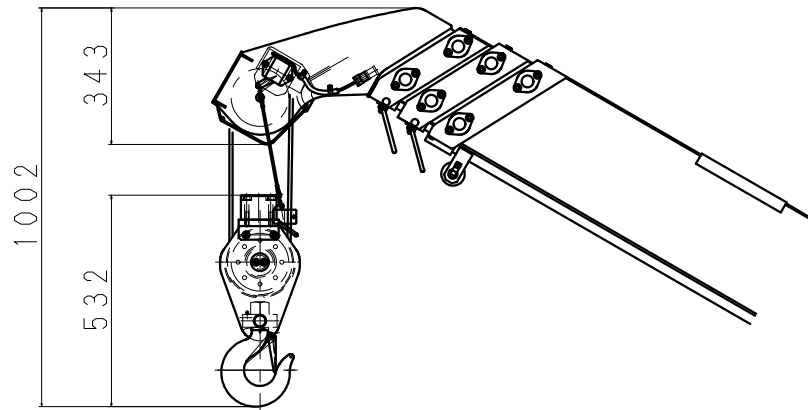
LC383M-5
ブーム先端寸法図

LC383M-5

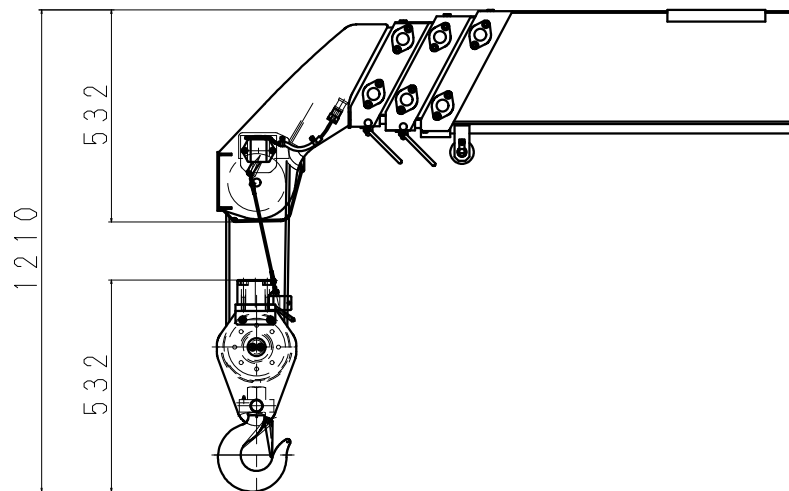
実際の寸法と若干異なる可能性があります



45°



30°



0°

5.2 機械のつり上げ方法 (LC383M-5 & CC423S-1)

5.2.1 ブームを伏せた状態でのつり上げ方法

⚠ 危険

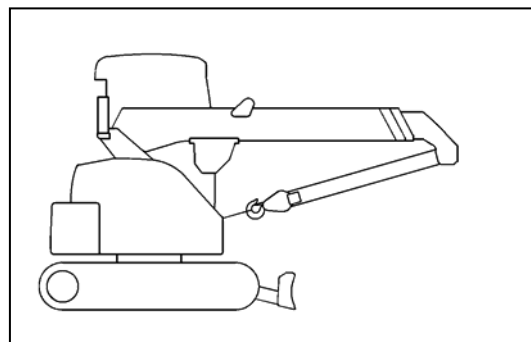
- ・本機械の寸法、質量は、「諸元編 1. 主要諸元表」の項を参照してください。
- ・クレーンを使用してつり上げ作業をする人は、クレーンの運転資格を取得した人でなければいけません。
- ・作業員を機械に乗せた状態で、つり上げ作業を行ってはいけません。
- ・つり上げに使用するワイヤロープやシャックル等のつり具は、機械の質量に対して、十分強度のあるものを使用してください。
- ・つり上げるときは、機械を水平状態にしてください。
- ・つり上げ作業を行うときは、ロックレバーをロック位置にして、機械が不意に動かないようにしてください。
- ・つり上げた機械の下や周辺には、絶対に入らないでください。
- ・下記の手順で示す姿勢以外の姿勢およびつり具で機械をつり上げないでください。
機械のバランス（釣り合い）をくずす危険があります。

アドバイス

- ・機械をつり上げるときは、同じ規格の玉掛け用ワイヤロープを4本、シャックルを4個使用してください。また、機械をつり上げる際は、玉掛け用ワイヤロープが機械本体に接触しないようにしてください。
 - ・ワイヤロープ：破断荷重 96.7KN以上（6×37-φ14×2.5m）
 - ・シャックル：使用荷重 2.0t以上 呼び18(形式SD除く)
- ・ブームを伏せた状態でつり上げるときは、必ずフックブロックを通常格納位置に格納してください。詳細は、「操作編 3. 17. 2 フックブロック通常格納時のクレーンの格納操作」の項を参照してください。

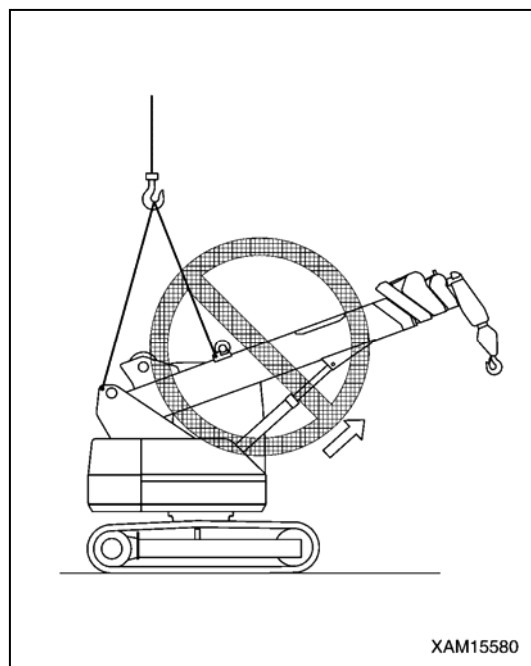
機械をつり上げるときは、地盤の堅い平坦な場所で行ってください。

1. フックをフック掛けワイヤロープに掛け、ブームを右図の姿勢にして、フックとブームを車両本体に固定してください。



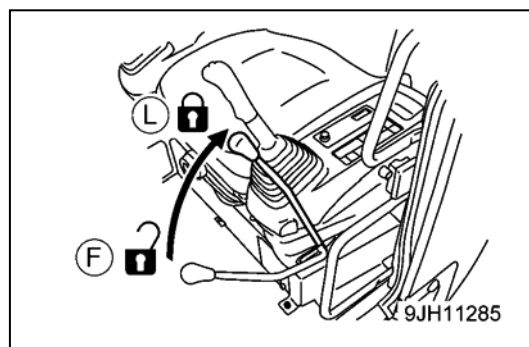
アドバイス

フックをブームの先端に格納した状態でつり上げると、車両の重みでブームが起きてしまいつり上げられません。ブームを伏せた状態でつり上げるときは、必ずフック掛けワイヤロープでフックとブームを車両本体に固定してください。

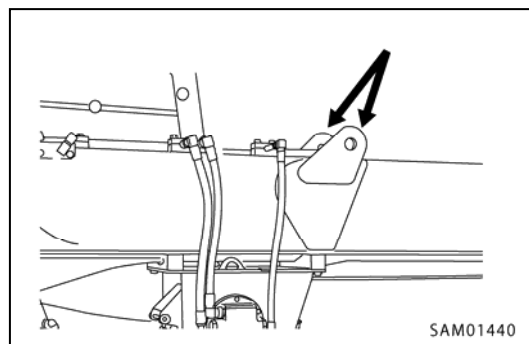


XAM15580

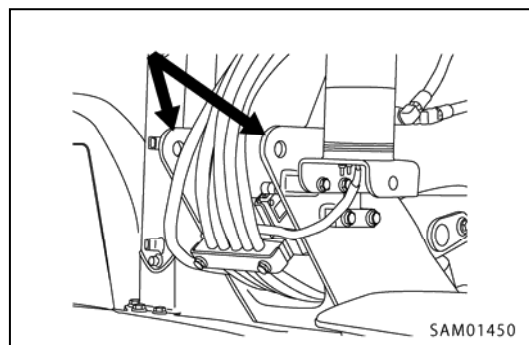
2. ロックレバーを確実にロック位置(L)にしてください。
3. エンジンを停止し、始動スイッチのキーを抜き取ってください。運転席回りに何も無いことを確認し、機械から降りてください。
4. ロック付カバー、キャップは、施錠してください。



5. ブーム部の左右2個所にシャックルを取り付け、玉掛け用ワイヤロープを掛けてください。



6. クレーンフレーム部の左右2個所にシャックルを取り付け、玉掛け用ワイヤロープを掛けてください。



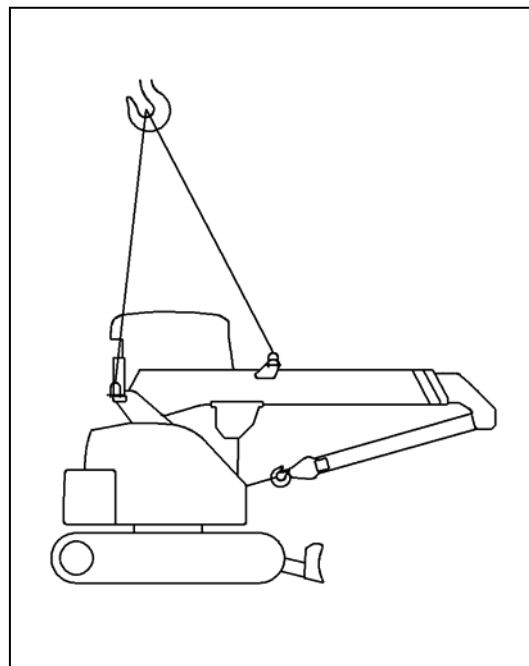
補足説明

玉掛け用ワイヤロープと機体が接触する部分に当て物をしてから、つり上げてください。

7. 玉掛け用ワイヤロープのつり角度を30～40度にして、ゆっくとつり上げてください。

補足説明

- つり上げた直後（地切り）、一旦停止してつり具の状態やつり姿勢を確認してください。
- 起伏シリンダヘッド側の油圧回路の漏れによる姿勢の変化がないか確認してください。
- 機体をつり上げると、後方に約1度、運転席側に約5度傾斜します。傾斜角度は、ブーム角度および燃料の残量によって多少変わります。



5. 2. 2 ブームを起こした状態でのつり上げ方法

⚠ 危険

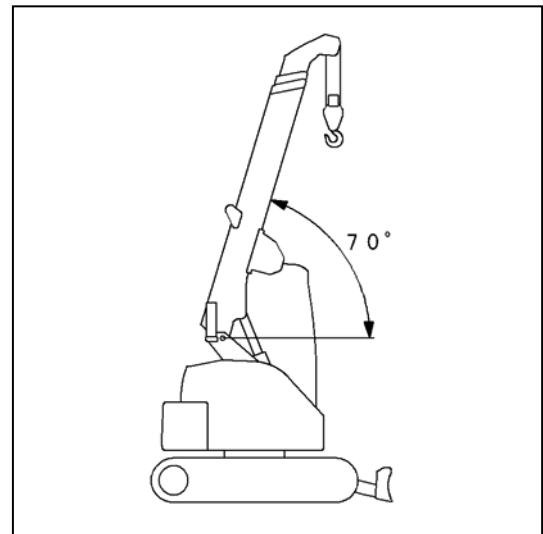
- ・本機械の寸法、質量は、「諸元編 1. 主要諸元表」の項を参照してください。
- ・クレーンを使用してつり上げ作業をする人は、クレーンの運転資格を取得した人でなければいけません。
- ・作業員を機械に乗せた状態で、つり上げ作業を行ってはいけません。
- ・つり上げに使用するワイヤロープやシャックル等のつり具は、機械の質量に対して、十分強度のあるものを使用してください。
- ・つり上げるときは、機械を水平状態にしてください。
- ・つり上げ作業を行うときは、ロックレバーをロック位置にして、機械が不意に動かないようにしてください。
- ・つり上げた機械の下や周辺には、絶対に入らないでください。
- ・以下の手順で示す方法、つり具の取付け位置（ブーム部左右2箇所のブラケット穴位置）以外で、絶対に機械をつり上げてはいけません。やむを得ず、他の方法で機械をつり上げる必要がある場合は、当社または当社販売サービス店に相談してください。

アドバイス

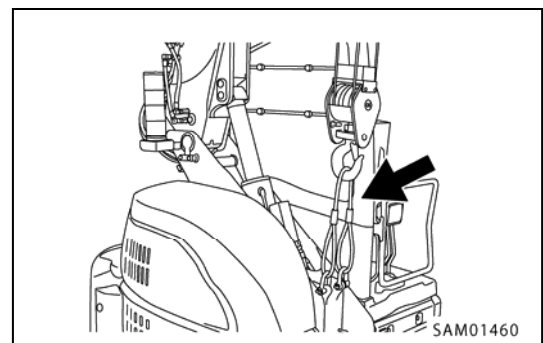
- ・機械をつり上げるときは、同じ規格の玉掛け用ワイヤロープを2本、シャックルを2個使用してください。
 - ・ワイヤロープ：破断荷重 160KN以上（6×37-φ18×2.5m）
 - ・シャックル：使用荷重 2.5t以上 呼び20（形式SD除く）
- ・ブームを起こした状態でつり上げるときは、必ずフックブロックを通常格納位置に格納してください。詳細は、「操作編 3. 17. 2 フックブロック通常格納時のクレーンの格納操作」の項を参照してください。

機械をつり上げるときは、地盤の堅い平坦な場所で行ってください。

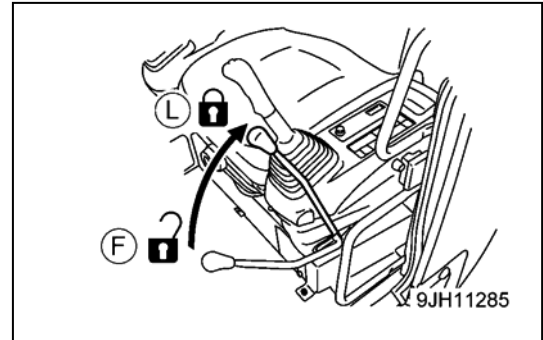
1. ブームを全縮して70度まで起してください。



2. 「操作編 3. 17. 2 フックブロック通常格納時のクレーン格納操作」の項を参照して、フックブロックを格納用ロープに掛けてください。



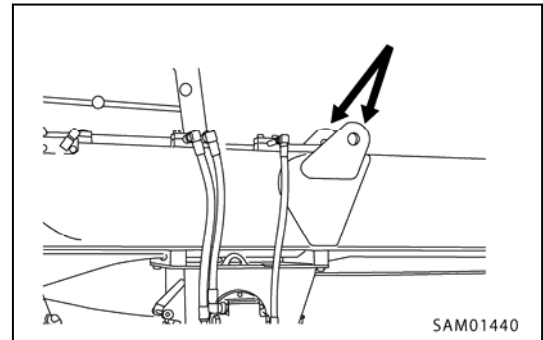
3. エンジンを停止し、始動スイッチのキーを抜き取ってください。運転席回りに何も無いことを確認し、機械から降りてください。
4. ロックレバーを確実にロック位置(L)にしてください。
5. ロックカバー、キャップは、施錠してください。



6. ブーム部の左右2個所にシャックルを取り付け、玉掛け用ワイヤロープを掛けてください。

補足説明

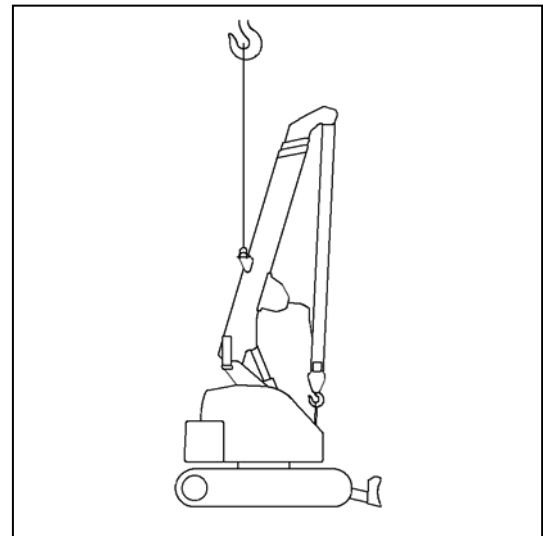
この際、玉掛け用ワイヤロープと機体が接触する部分に当て物をしてから、つり上げてください。



7. 機械をゆっくりとつり上げてください。

補足説明

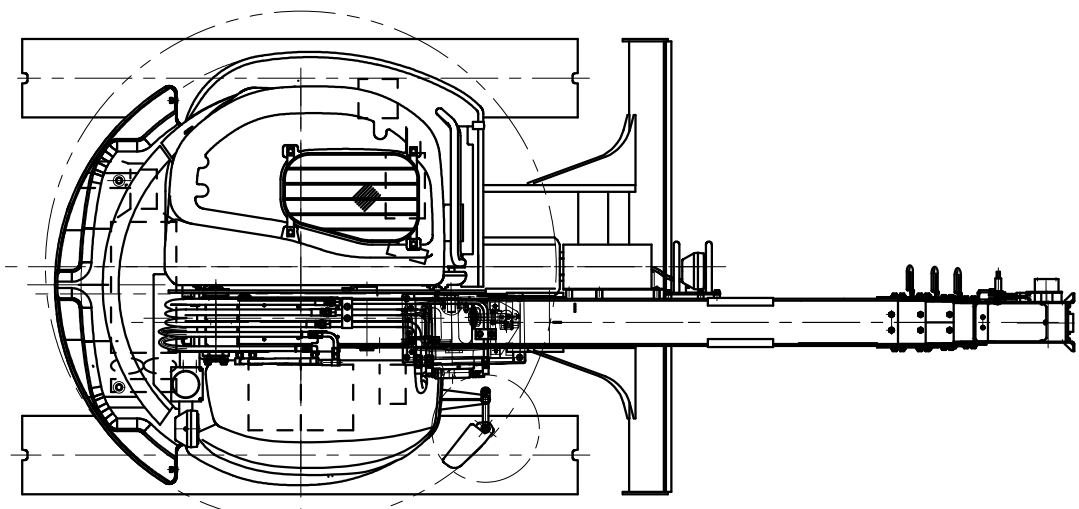
- つり上げた直後（地切り）、一旦停止してつり具の状態やつり姿勢を確認してください。
- 起伏シリンダヘッド側の油圧回路の漏れによる姿勢の変化がないか確認してください。
- 機体をつり上げると、後方に約0度、運転席側に約3.5度傾斜します。傾斜角度は、ブーム角度および燃料の残量によって多少変わります。



LC383M-5

分割重量

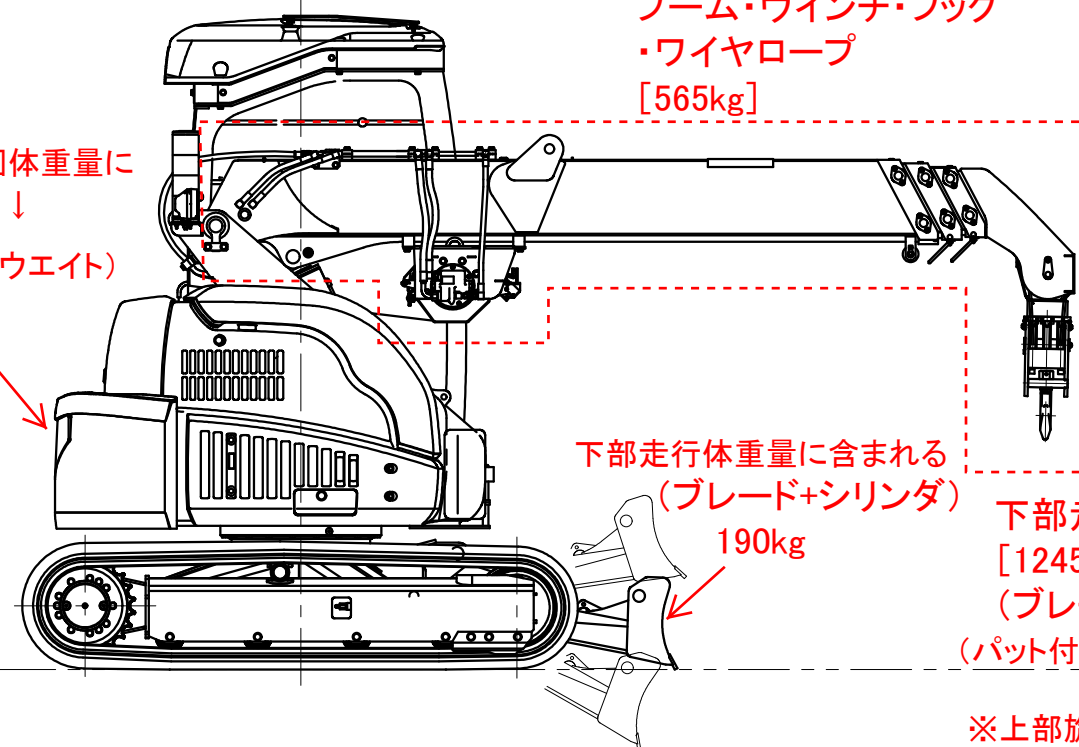
車体重量 [4400kg]
(パット付きは+100kg)



上部旋回体
[2590kg]
(カウンタウエイト含む、作業機除く)

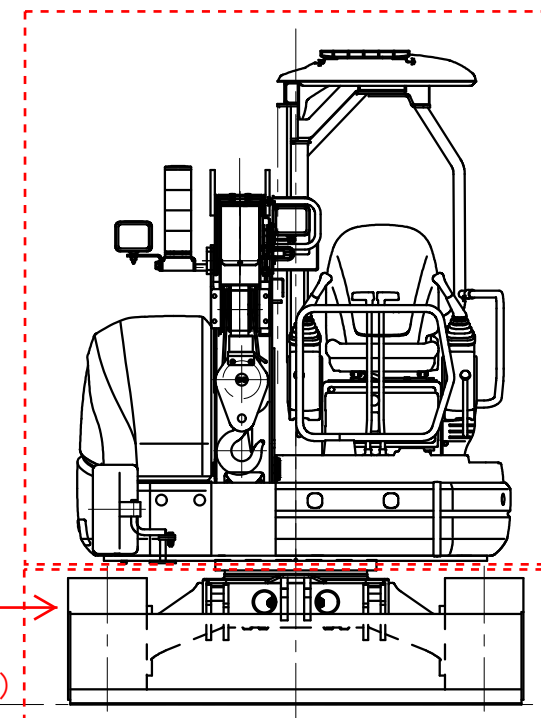
ブーム・ウインチ・フック
・ワイヤロープ
[565kg]

上部旋回体重量に
含まれる↓
(カウンタウエイト)
1220kg



下部走行体重量に含まれる
(ブレード+シリンダ)
190kg

下部走行体
[1245kg]
(ブレード含む)
(パット付きは+100kg)



※上部旋回体と下部走行体の分割は大掛かりな作業になります。
特に現場では作業が難しいと考えられますのでご了承ください。